

キャリア形成促進助成金（団体等実施型訓練）訓練実施結果報告書

①訓練実施 計画番号	②訓練コース名	③訓練区分	④訓練の実施内容	⑤訓練の実施日	⑥訓練の実施 時間数	⑦所用費用額	⑧ 備 考
1	若年技能者向け建設業研修コース ①		<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設業の概況について ・ 施工法講義 	別添訓練カリキュラム (訓練実施計画届時の訓練カリキュラムから変更がある場合) に添付	2.5時間	1,210,000円	
合計							

団体様式6号[キャリア形成促進助成金（団体等実施型訓練）訓練実施結果報告書]（裏面）

記入上の注意

- 1 ①の訓練実施計画番号欄には、キャリア形成促進助成金（団体等実施型訓練）訓練実施計画書（団体様式3号）に記載した訓練実施計画番号を記入してください。
- 2 ②の訓練コースの名称は、キャリア形成促進助成金（団体等実施型訓練）訓練実施計画書（団体様式3号）に記載した訓練コースの名称を記入してください。
- 3 ③の訓練区分には、次の区分の名称を記入してください。

例：①若年労働者を対象とする実践的な訓練等

②熟練技能者による技能承継等のための訓練等
- 4 ④の訓練の実施内容欄には、上記3の訓練区分に従い、実施内容等を詳細に記入してください。
- 5 ⑥の訓練の実施時間数欄には、実施した訓練の時間数（休憩時間数等を除く）を記入してください。なお、実施した訓練時間数が20時間未満である場合は当該訓練コースの助成は受けられません。
- 6 ⑦の所用費用額の欄には、当該訓練等の実施に要した経費で助成対象となる経費の合計額を記入してください。

その他

- 1 ③の訓練区分のうち、①の若年労働者を対象とする実践的な訓練等を実施する場合には、実施した訓練等の受講者のうち、35歳未満の若年労働者が過半数を占める必要があります。

③の訓練区分のうち、②の「熟練技能者による技能承継等のための訓練等」における「熟練技能者」とは、次の（ア）から（オ）のいずれかに該当する者をいいます。

（ア）技能士1級技能検定、特級技能検定または単一等級技能検定合格者、（イ）職業訓練指導員、（ウ）組合等から熟練技能を保有している旨の推薦を受けた者で熟練技能の育成・承継に関連する職種等の実務経験が10年以上（※）の者、（エ）自治体等が認知しているマイスター等、（オ）技能大会で優秀な成績を修めた者
（※）「実務経験が10年以上」とは、職種ごとの主要な技能の内容を概ね包含する実務の経験及び入職後に当該職種に関する訓練又は教育を受けた経験を指します。